

No.  
**107**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



診療科紹介 循環器内科

症状がないまま  
ゆっくりと進行する

## 大動脈弁狭窄症

診療科紹介

循環器内科

症状がないままゆっくりと進行する

# 大動脈弁狭窄症

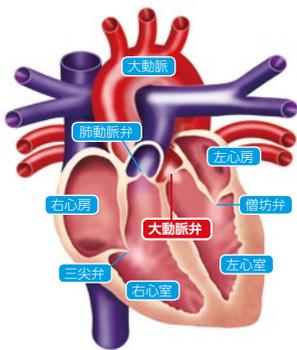
北里大学病院  
循環器内科 科長・教授

阿古 潤哉

## 大動脈弁狭窄症の原因と症状

大動脈弁狭窄症の原因はいくつかありますが、近年主なものとしては動脈硬化、そして加齢です。75歳以上人口の3%以上がこの疾患にかかると言われていています。心臓弁というのは4つあり、三尖弁と肺動脈弁、僧帽弁、そして、左心室から大動脈の間に大動脈弁があります。血液は左心房から左心室を通過して大動脈へ流れます。大動脈弁狭窄症の患者さまは、大動脈弁が狭窄しているので心臓が強く打っても血液が大動脈に流れない、つまり全身に血液を流すことができない、心臓のポンプ機能が弱まってしまうのです。

症状としては動悸や息切れなどの心不全症状、胸の痛みなどですが、大動脈弁狭窄症はゆっくりと進行するため、からだ慣れてしまい、症状を自覚できないことが多いです。自覚症状がなく、心不全症状が進行するので、ご本人が症状に気が付いた時には、非常に重篤な状態になっていることもあります。



## 心不全の分類

NYHA（ニューヨーク心臓協会）重症度分類では心不全の症状をI度からIV度に分類しています（表1）。

Ⅲ度は平地でも少し動いただけで苦しくなります。Ⅳ度になると安静にしているでも苦しく、日常生活が困難になります。Ⅲ度、Ⅳ度はかなり重症ということです。大動脈弁狭窄症が進行すると、心不全（心臓のポンプ機能が低下する状態）になります。自覚



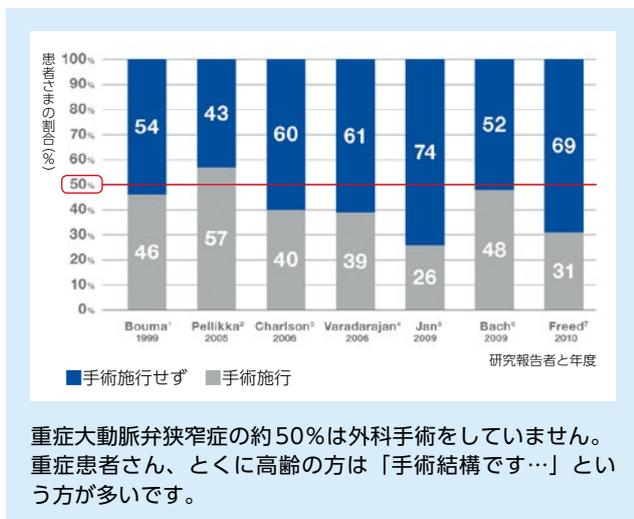
症状として、このような症状がある場合には、近隣の医療機関（循環器内科）を受診することをお勧めします。

表1 出典：ハリソン内科学第4版

| クラス      | 症 状                              |
|----------|----------------------------------|
| NYHA I   | 身体活動に支障がない。通常の労作で無症状。            |
| NYHA II  | 身体活動に軽度の支障がある。通常身体活動で症状をきたす。     |
| NYHA III | 身体活動に高度の支障がある。通常より軽い身体活動で症状をきたす。 |
| NYHA IV  | 身体を動かせば必ず不快感をきたす。安静時にも症状がある。     |

## 大動脈弁狭窄症の治療

大動脈弁狭窄症は薬では治せません。2002年にカテーテル治療が行われるまでは、一般的には手術で心臓を開けて大動脈弁を取り換えるしかありませんでした。しかし、大動脈弁を取り換えるのは、心臓を止めて人工心肺装置を使うかなり高度な手術です。また術後の回復に3週間くらいかかります。患者さんが高齢の場合は負担が大きく、手術を行うこと自体が難しくなります。



欧米では1999年頃から Structural Heart Disease (冠動脈以外の部分に対して、カテーテル治療を行う) がかなり積極的に行われるようになり、当院でも今年から導入して、治療が始まりました。それがTAVI (経カテーテル大動脈弁治療) です。

### 負担の少ないTAVI治療

TAVIは大動脈弁狭窄症に対して行われるカテーテル治療です。心臓を開けることも、心臓を止めることも、人工心肺装置も必要ありません。埋め込み型の弁を太ももの付け根にある動脈にカテーテルを入れ、そこを通して、大動脈、心臓の血管を通して大動脈弁の位置まで持っていき、そこで拡張させて弁を埋め込むという治療方法です。全身麻酔で行いますが、手術時間も3時間程で非常に短く、術後の

回復も早いです。翌日には歩けますし、リハビリも早くすすみます。侵襲が小さいので、これまで手術を受けることができなかった高齢者などハイリスクの患者さまの根治が望めるようになりました。TAVIを導入している国内の施設は、まだ70～80施設です。人員が揃い、検査数が多い等の施設基準を満たす必要があるためです。TAVI導入のために当院では、循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学技士、放射線技師などで「ハートチーム」を組み、研修を行い手技の向上に努めています。

基本的にTAVIは開胸手術が難しいハイリスクの患者さんに対して行うことが適当だと考えられていましたが、最近では中等度リスクの患者さんに対して、開胸手術と同等もしくはTAVIの方が成績が良いというデータも出てきました。今後TAVIの治療はさらに大きな広がり期待されるでしょう。

### ご紹介いただく先生方へ

近隣の医療機関の先生方には研究会などを通じて、当院でTAVIを導入したことは伝えていきます。

循環器内科以外の診療科の先生でも胸部聴診で何かおかしい、心雑音があると思ったら、すぐにご紹介ください。大動脈弁狭窄症の心雑音は比較的わかりやすいと思います。早く見つけ、診断につなげることが大切です。

治療法は当院で判断させていただきます。患者さんによってはTAVIではなく手術のほうが良い人もいますので、その場合は手術をすすめます。早く治療法の判断をするために早く見つけましょう。



治療法の判断をするために早く見つけましょう。

埋め込み型の弁が拡張するようす

### Profile / 阿古 潤哉

- 1991年東京大学医学部卒業、東京大学附属病院、三井記念病院、東京大学附属病院老年病科を経て、2001年米国スタンフォード大学客員研究員、2009年自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科教授、2013年より北里大学医学部循環器内科教授
- 医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本老年医学会老年病専門医

### 北里大学病院からのお知らせ ①



#### 診療アシスタントのユニフォームを一新しました

当院の診療アシスタントは、診療の流れをスムーズにすることを目的として、主に医師の診療補助、診療の準備等を行っている職種です。

具体的な業務としては、診療に関する様々な調整や診療に必要な検査データ、診察室の準備に加え、患者さまの介助や診断書作成に関する業務も行っており、当院のチーム医療の一翼を担っています。当院には25名の診療アシスタントが在籍し、外来診察室付近にて業務を行っています。この度、ユニホームを一新しました。診療に関して問い合わせ等がありましたら、気軽にお声がけください。

### 北里大学病院からのお知らせ ②

#### 「公益財団法人 日本医療機能評価機構」実施の「機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.1」を受審し、認定されました



### お問い合わせ——北里大学病院 トータルサポートセンター

- URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
- 住所 〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
- TEL **042-778-9988** (医療機関専用)
- FAX 042-778-9599